



「イノベーション創出とものづくり産業の支援」

商工労働水産部長 西 啓一郎

このたび、4月1日付けで商工労働水産部長に就任しました西です。

県内企業及び関係団体の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な御尽力、御支援をいただき深く感謝申し上げます。

現在、人口減少がもたらす労働力不足や国内市場の縮小、企業のグローバル化への対応やデジタル化等による構造変化など、ものづくりを支える製造現場は大きな変革期の中にあります。

このような状況の中、国は「日本再興戦略2016」の中で、IoT、ビッグデータ、人工知能（AI）などを最大限に活用し、産業構造・就業構造の変革をもたらす「第4次産業革命の実現」を成長戦略の1つとして掲げております。本県といたしましても、IoT等を活用した新たなビジネス展開への支援、製造業の販路拡大や人材育成に資する施策を展開することとしております。

また、本年3月には「たゆみないイノベーションと製品の開発・事業化による付加価値の創出・向上」などを柱とする、今後5年間の製造業振興に関する方向性を定めた、新たな「かごしま製造業振興方針」を策定し、これまでの「自動車・電子・食品」の重点3分野、「環境・新エネルギー」、「健康・医療」、「バイオ関連産業」に新たに「航空機関連産業」を加えた「新成長産業」の4分野において、県内企業の参入支援や取引拡大、技術開発支援等を行っていくこととしています。

具体的には、創業や新分野への進出、規模拡大に対し、経営計画の策定、研究開発、設備投資等を一貫して支援する「中小製造業者創業・新分野進出等支援事業」、新技術・新製品の研究開発の取組みを支援する「重点業種研究開発支援事業」、食品関連に特化して、食品の安全性や衛生管理等

の認証取得に向けた取組みを支援する「安心・安全な食の認証取得促進事業」や消費者動向やマーケットニーズに対応した付加価値の高い商品づくりに向けた取組みを支援する「かごしまの「食」付加価値向上対策事業」などに取組むこととしております。

このような中、工業技術センターは、県内企業の「技術的拠りどころ」として、本県産業の技術ニーズを踏まえた研究開発を行うとともに、技術指導・相談、依頼試験・分析、設備機器使用等の技術支援を行っています。研究開発は、地域資源の高度利用、新素材・新材料開発、生産・加工システム、バイオ・食品、環境・生活・デザイン、電子・情報の6分野において、「シラスの全量JIS化による産業創生」、「タブレット状素材を用いた板鍛造技術の高度化」など14テーマを実施するほか、新技術の開発をめざす技術創出（シーズ）研究として「発酵技術を活用した新食品の開発」など4テーマ、企業ニーズに対応した技術高度化（ニーズ）研究として「切削加工における工具摩耗の3次元測定技術に関する研究」など4テーマを実施しております。ほかにも、九州・山口各県工業系公設試連携促進事業や公募提案型受託研究などにも取り組んでおります。また、技術相談・指導は8,300件以上、依頼試験・分析は2,700件以上行っており、県内企業等の問い合わせ等に迅速に対応しているほか、手引きによる技術指導・学生指導など技術移転や人材育成にも努めています。

皆様におかれましては、新事業の創出や新製品の開発に向けて工業技術センターを積極的に活用していただき、本県地域経済の活性化につなげていただきたいと考えております。